

ドリーム50 Sステージキット(89cc) 取扱説明書

商品番号 : 01 05 0161
 適応車種 : DREAM50
 フレーム番号: AC15-1000001~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。

取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキン等の一部は再使用しますが、損傷、劣化が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。

スパークプラグは、焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、必ず抵抗入りのスパークプラグをご使用下さい。

出力アップと共に、発熱量を増大します。オイルクーラー(09-07-203, 204, 205, 2031, 2041, 2051)の装着をお勧めします。

! **注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

! **警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

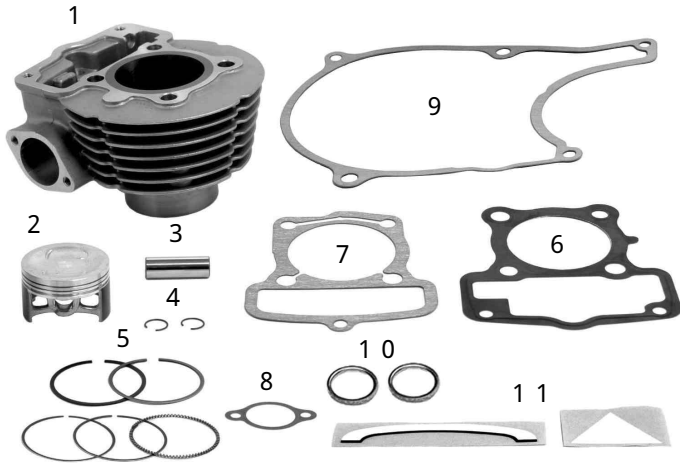
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて戴きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 特 徴 ～

当商品は、排気量を50cc 89ccにアップ、圧縮比は10.0:1 11.6:1に、変更させるキットです。ノーマルのシリンダーヘッドを使用しますので、低価格で、手軽にパワーアップをお楽しみいただけます。

～商品内容～



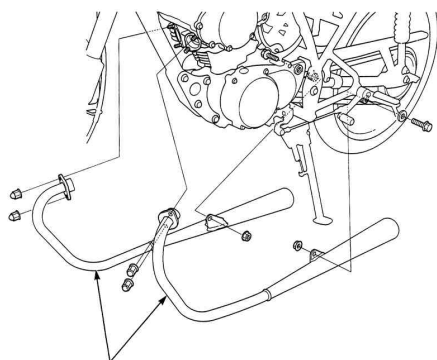
番号	部品名	個数
1	シリンダー	1
2	ピストン	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンピンサークリップ	2
5	ピストンリングセット	1
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーベースガスケット	1
8	テンショナ-リフターガスケット	1
9	L.クランクケースカバーガスケット	1
10	エキゾーストパイプガスケット	2
11	原付2種マークセット	1

取付けに使用する工具等

- ・トルクレンチ
- ・8mm、10mm、12mmボックスレンチ
- ・8mmディープボックスレンチまたは8mmT形レンチ
- ・ヘキサゴン5mmボックスレンチ（ロングタイプ）
- ・8mmスパナ
- ・プラスドライバー大、中、小
- ・マイナスドライバー（極細）
- ・シクネスゲージ
- ・ラジオペンチ
- ・プラスチックハンマー
- ・スクレイパー
- ・ウエス
- ・針金または、ひも等

～取り付け要領～

1. 水平な場所でサイドスタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。エキゾーストパイプ/マフラーを取り外します。

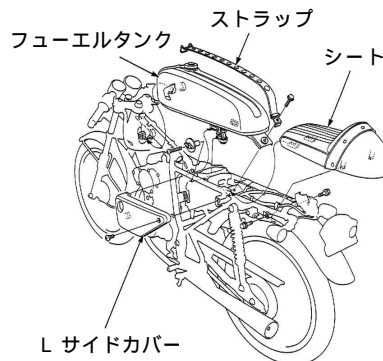


エキゾーストパイプ/マフラー

2. 水平で安全な場所でレーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えます。

3. エンジンの取り外し

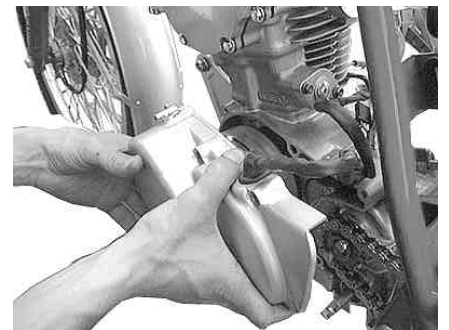
- a. サイドカバーL、シート、フューエルコックレバー、フューエルタンク、キャブレター、を取り外します。



L サイドカバー

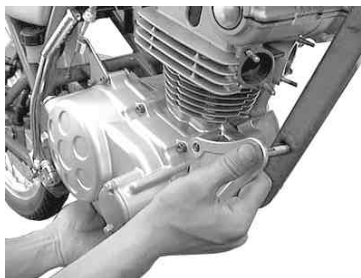
- b. スパークプラグキャップ、クラッチケーブルをエンジンから外します。ACジェネレータカブラ、チェンジスイッチカブラの接続を外し、ワイヤーをフレームのクランプから外します。

- c. L.クランクケースカバーのボルト5本を外し、L.クランクケースカバー、ロックピン2個、ガスケットを取り外します。ロックピン2個は、再使用しますので紛失しないようにして下さい。ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。クランクケースのL.クランクケースカバー合わせ面に付着したガスケット材をスクレイパー等できれいにはがして下さい。

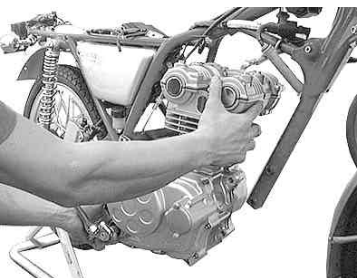
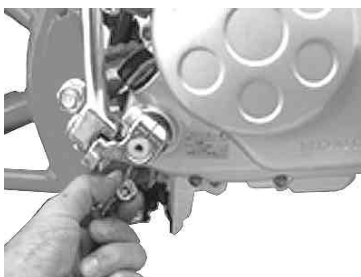


- d. チェンジペダルリンクのボルトを外し、チェンジペダルリンクを取り外します。

- e. エンジン下部にジャッキ等の適当な台を置き、エンジンを支えます。フロントエンジンハンガープレートのボルト5本とナット5個を外し、フロントエンジンハンガープレートを取り外します。



- f. リアエンジンハンガーのボルト2本とナット2個を下側から外し、エンジンを車体から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



4. シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

- a. シリンダーヘッドL. サイドカバーの、スペシャルボルト/マウントラバー8本を外し、シリンダーヘッドL. サイドカバーとパッキンを取り外します。シリンダーヘッドカバーボルト4本とマウントラバー4枚を外し、シリンダーヘッドカバーとパッキンを取り外します。



- b. クランクシャフトを反時計方向に回し、カムシャフトのスリッパ部がバルブリフターを押ししていない状態で、フライホイールの“T”マークをL. クランクケースの合わせマークに合わせます。

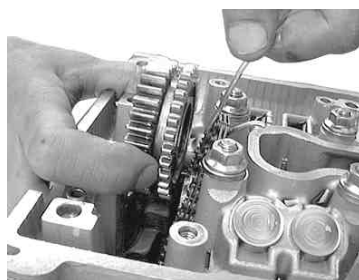
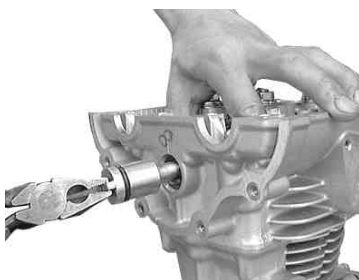


- c. カムシャフトホルダーのボルトを外し、カムシャフトホルダーを取り外して、カムシャフトを取り外します。

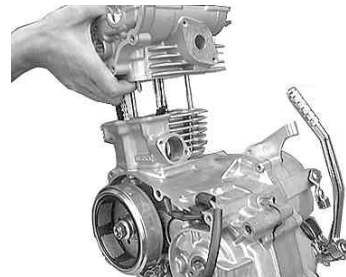
- d. カムチェーンテンショナーのリフトスクリューを外し、ストッパーを時計方向にマイナスドライバー（極細）で回して、リフト部をロックします。ボルト2本を外し、カムチェーンテンショナーを取り外します。



- e. アイドルギアシャフトのソケットボルトを外し、アイドルギアシャフトを取り外します。カムチェーンからアイドルギアを取り外します。このとき、カムチェーンがクランクケース内に落ちないように針金などでつっおいて下さい。

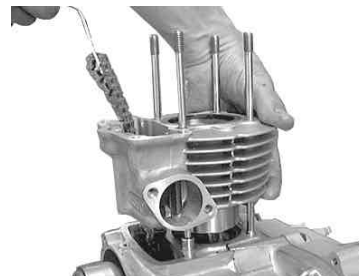


- f. シリンダーヘッドマウントソケットボルト2本を取り外します。シリンダーヘッドフランジナット4個を対角に2～3回に分けてゆるめて、フランジナット、シーリングワッシャを外し、シリンダーヘッドを取り外します。



- g. ノックピン2個、ガスケット、カムチェーンガイドを取り外します。ノックピン2個は、再使用しますので紛失しないようにして下さい。

- h. シリンダーのフランジソケットボルトを外し、シリンダーを取り外します。



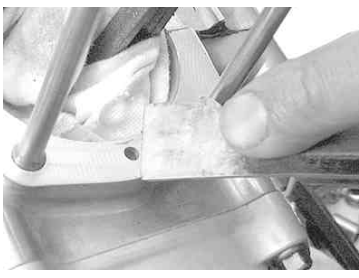
- i. ノックピン2個、ガスケットを取り外します。ノックピン2個は、再使用しますので紛失しないようにして下さい。

- j. ピストンピンサークリップや、ゴミがクランクケース内に落ちないようにクランクケース開口部をウエス等でふさぎます。

- k. ピストンピンサークリップを取り外し、ピストンピンを抜き取って、ピストンを取り外します。

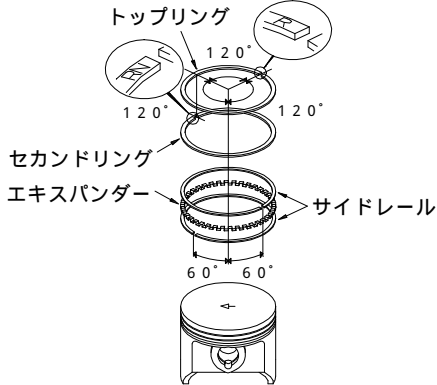


- l. クランクケースのシリンダー合わせ面に付着したガスケット材をスクレイパー等できれいにはがして下さい。



5. ピストンとシリンダーの取り付け

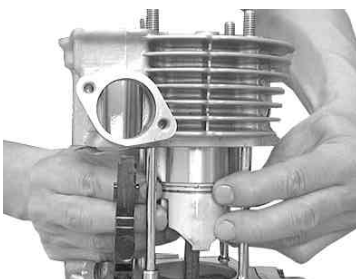
- a. ピストンにピストンリングを取り付けます。トップリングは“R”、セカンドリングは“RN”の文字が入っています。共に文字面を上面向けて下さい。また、サイドレールには方向性はありません。(下図参照)ピストンを傷つけたり、ピストンリングを破損しないように注意して下さい。



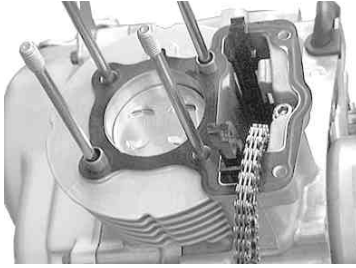
- b. ピストン頭部の矢印を、エキゾースト方向に向け、付属のピストンピン、ピストンのピン穴、コネクティングロッドの小端部にエンジンオイルを塗布して、ピストンピンをさし、付属のピストンピンサークリップを取り付けます。ピストンピンサークリップの合い口はピストンピン穴の切り欠き部を避けて下さい。



- c. ピストンリングにエンジンオイルを塗布して、各リングが、滑らかに回転することを確認して下さい。ピストンリングの合い口は、ピストンピン方向とその直角方向を避け、120度間隔にして下さい(上図参照)。
- d. クランクケースとシリンダーの合わせ面をシンナー等で脱脂し、ロックピンと付属のシリンダーベースガスケットを取り付けます。
- e. シリンダー内面とピストン外周面にエンジンオイルを塗布して、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付けます。



- f. シリンダーにフランジソケットボルトを仮り止めします。シリンダー上面をシンナー等で脱脂し、カムチェーンガイド、ロックピン2個、付属のシリンダーヘッドガスケットを取り付けます。



6. シリンダーヘッドの取り付け

- a. シリンダーヘッドの合わせ面をシンナー等で脱脂し、シリンダーヘッドを取り付けます。スタッドボルトにシーリングワッシャを4枚取り付け、フランジナットのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布したものを4個取り付けます。シリンダーヘッドマウントソケットボルト2本を取り付けます。フランジナットを対角に2~3回に分けて規定トルクで締め付けます。

トルク：23 N・m (2.3 kgf・m)
シリンダーヘッドマウントソケットボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)
シリンダーヘッドを仮止めしていたフランジソケットボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



- b. アイドルギアの歯面とベアリングにエンジンオイルを塗布します。アイドルギアシャフトのOリングにエンジンオイルを塗布します。クランクのタイミングスプロケットにカムチェーンがはまっていることを確認し、アイドルギアのスプロケット部にカムチェーンを取り付け、アイドルギアシャフトを取り付けます。

アイドルギアシャフトを回し、シャフト固定用ボルト穴の位置を合わせて、ソケットボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

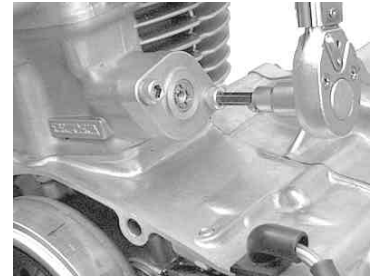


- c. カムチェーンテンショナーのストッパーを時計方向に回し、リフタ部がロックしていることを確認して下さい。カムチェーンテンショナーに付属のガスケットを取り付けて、シリンダーにボルト2本で規定トルクで締め付けます。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)

カムチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に回し、ロックを解除します。カムチェーンテンショナーのリフタスクリューを取り付け、規定トルクで締め付けます。

トルク4 N・m (0.4 kgf・m)



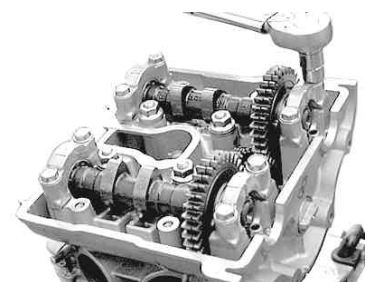
7. カムシャフトの取り付け

- a. クランクシャフトを反時計方向に回し、フライホイールの“T”マークをLクランクケースの合わせマークに合っているかを確認して下さい。

- b. カムシャフトのスリッパ部に二硫化モリブデン溶液を、ベアリング部にエンジンオイルを塗布し、インテークカムシャフトをキャブレター側に、エキゾーストカムシャフトをエキゾーストパイプ側に、カムギアに刻印された線がシリンダーヘッド上面に平行かつ文字が上を向くように取り付けして下さい。



- c. カムシャフトホルダを取り付けます。カムシャフトホルダは識別マークに従い、正しい位置に取り付けて下さい。



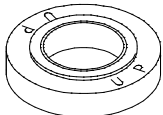
IN R = インテークカムシャフト右側ホルダ
 IN L = インテークカムシャフト左側ホルダ
 (カムギア側)
 EX R = エキゾーストカムシャフト右側ホルダ
 EX L = エキゾーストカムシャフト左側ホルダ
 (カムギア側)

カムシャフトホルダのボルトのネジ部と座面にエンジンオイルを塗布し、ボルトを少しずつ締めこんでカムギアの刻印線が傾いていないことを確認して下さい。カムシャフトホルダのボルトをカムギア側 (IN L 側および EX L 側) から規定トルクで締め付けます。
トルク: 12 N・m (1.2 kgf・m)
 クランクシャフトを反時計方向に回して、再度フライホイールの“T”マークをL.クランクケースの合わせマークに合せたときにカムギアの刻印線がシリンダーヘッド上面に平行であることを確認して下さい。

d. カムシャフトとバルブリフタの間にシクネスゲージを入れ、インテーク、エキゾーストのバルブクリアランスを測定して下さい。バルブクリアランスは、インテーク、エキゾースト共に、0.12 mm ~ 0.18 mmです。

8. ヘッドカバーの取り付け

- シリンダーヘッドカバーに、パッキンとカムシャフトエンドキャップを取り付けます。
- シリンダーヘッドのカバー合わせ面の半月部にシール剤を塗布し、シリンダーヘッドカバーをシリンダーヘッドに取り付けます。マウントラバー4枚を“UP”マークが上に向くようにして取り付けます。



- シリンダーヘッドカバーボルトを取り付け、シリンダーヘッドカバーにある“ ”マーク側のボルトから、規定トルクで締め付けます。



トルク: 12 N・m (1.2 kgf・m)

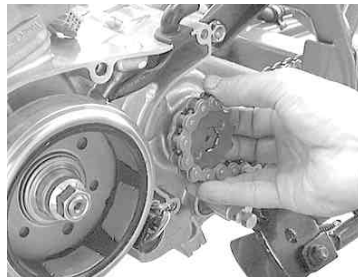
- シリンダーヘッドL.サイドカバーにパッキンを取り付け、シリンダーヘッドにスベシャルボルト/マウントラバー8本で取り付け、規定トルクで締め付けます。



トルク: 10 N・m (1.0 kgf・m)

9. エンジンの取り付け

- フレーム等に傷をつけないように注意してエンジンをフレームにセットして、リアエンジンハンガーのボルト2本を車体の左側からさし、ナット2個で仮り止めします。
- フロントエンジンハンガープレートのボルト4本を車体の左側からさし、ナット4個で仮り止めします。
- ドライブチェーンを取り付けたドライブsprocketを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



- ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮り止めたリアエンジンハンガーのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を規定トルクで締め付けます。

トルク: 26 N・m (2.7 kgf・m)

- ドライブsprocketのフィキシングプレートを取り付け、2本のボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク: 12 N・m (1.2 kgf・m)

- クランクケースのL.クランクケースカバー合わせ面をシンナー等で脱脂し、付属のL.クランクケースカバーガスケットとロックピン2個を取り付け、L.クランクケースカバーをボルト5本で規定トルクで締め付けます。

トルク: 10 N・m (1.0 kgf・m)

- チェンジペダルリンクを取り付け、ボルトを規定トルクで締め付けます。

トルク: 10 N・m (1.0 kgf・m)

- スパークプラグキャップ、クラッチケーブルをエンジンに取り付けます。ACジェネレータ、チェンジスイッチのワイヤーをフレームのクランプに確実に取り付けます。ACジェネレータカバー、チェンジスイッチカバーを接続します。シリンダーヘッドから古いエキゾーストパイプガスケットを取り外し、キット内の新品のエキゾーストパイプガスケットを取り付けます。

- キャブレター、フューエルタンク、シート、サイドカバーL、エキゾーストパイプ/マフラーを取り付けます。

10. エンジン始動

- 各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないかを確認します。
- エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
- 風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動して下さい。エンジン内部にエンジンオイルがいきわたるまで約5分間、アイドリングで置いておきます。
- エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検して下さい。

11. お願い

- a. 排気量をアップしたにもかかわらず、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。
- b. 原付2種の登録を済ませ、付属の原付2種マークをお貼り下さい。
- c. この製品を取り付けると、出力アップしますので、STDスプロケットのままではローギアになりすぎ、各部の摩耗が激しくなります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

・推奨スプロケット（体重65kg時）

トランスミッション	ドライブスプロケット	ドリブンスプロケット
ノーマル5速	16	43（ノーマル）
当社製6速	15	38

- d. 更なる出力アップには、
 - ・ハイパーC.D.I.: 07-02-17
 - ・PE24ビッグキャブキット: 03-05-023
 - ・ハイパーカムシャフト: 01-08-035
 - ・メガホンマフラー: 04-02-056（ブラック）
/ 055（クロムメッキ）をお勧めします。
- e. この製品を取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間負荷を与える走行には、オイルクーラーの装着をお勧めします。
 - ・オイルクーラーシルバー4フィン
: 09-07-203（取出口ブルー）/ 204（取出口レッド）
/ 205（取出口シルバー）
 - ・オイルクーラーシルバー3フィン
: 09-07-2031（取出口ブルー）/ 2041（取出口レッド）
/ 2051（取出口シルバー）

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>